

第95回しみず新事業創出研究会・議事録

作成 事務局（白澤）

日時 11、6、21（火）15：30～17：30
場所 静岡商工会議所・清水事務所 5階
出席 会員企業 11社12名 ・特別会員他 10名 ・事務局 5名
計27名

内容

新任・新会員紹介：新任（清和海運赤堀氏）・新会員（東亜ドラム星野氏）

1、会長挨拶及び情報提供

1) 開発プロセスが参考になる例の紹介：香川県の「うどん店の腕汁排水処理“サワーフィルターUDN”

(1) 開発の背景

・香川県では「うどん店等の排水による環境悪化が問題になっていたが、排水処理装置の高価格が中小うどん

店の導入の壁になっていた。

・香川県は排水規制を上乗せ、H24年施行：(排水量50t/日の事業所を→10t/日事業所までに適用
放流水質TOC（全有機性炭素）濃度160mg/L と強化した。→小規模事業所が新たに規制対象になる

・事業者の希望：①省スペース②安価：200万円以下で③簡単操作④営業に支障をきたさない。

(2) 技術開発

・コア技術：東西化学産業(株)（関西ものづくりの会、しみず新事業創出研究会会員・水処理企業）が開発微生物処理（好気性/通性嫌気性/嫌気性の3種組み合わせ・従来型の活性汚泥処理では大型、長時間）、バッチ式循環型。うどん腕汁原排水TOC3500ppm（これを160以下に）、適応微生物の発掘・選抜泉亭。

・簡易処理：原水冷却槽（80℃の原排水を冷却）→循環槽（通性嫌気性菌での循環処理）→バイオリアクター（嫌気性菌処理と汚泥回収）→調整槽（好気性菌による曝気処理）→一部を原水冷却槽に戻し（原水の冷却）、オーバーフローを放流。

・バイオリアクター：もみガラ炭を担体に（各種の担体をテストの結果もみガラ炭が最適）

・開発組織：新連携支援事業（経産省近畿経済産業局）3500万円、東西化学産業（大阪・システム開発・製作）、堀尾電機(株)（香川県・施工、販売、メンテナンス）

・現状：うどん店での実証試験完了、軽トラ搭載装置で試験・販売実施中。

* 参考資料：サワーフィルターUDN、うどん廃水処理装置試験結果説明、車搭載機試験結果

2、企業紹介 東亜ドラム 星野氏

・東亜燃料(株)の関連会社として昭和24年清水区袖師に設立、資本金2100万円、清水、和歌山・事業；石油関連製品の取り扱い、人材派遣、清水ではエルエヌジー(株)のLNGの搬入業務も請けている。

新規事業研究中：アグリビジネス（生産だけでなく総合的農業経営）コンビニエンスビジネス。
健康・介護（和歌山有田市では発足）

3、発明協会からの情報提供 特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏

- 1) 発明協会機関紙の説明と報告
- 2) 「知的財産を活用した経営の推進 その3」(資料参照)について説明した。
前回に続き、中西会長発明の、S49～出願の「曲面印刷・・・水圧転写」に付いて考え方を紹介した。・・・基本特許と分割出願。

4、LEDプロジェクト報告 大日工業 川瀬社長

- 1) プロジェクト内で、(株)カタヤマが中心となって、静岡大学農学部に加藤准教授の研究の共同研究計画を静岡市の補助金事業(100万円)に申請した旨の報告があった。
- 2) 望月鉄工所の望月社長が持参した、LED照明灯2種(天井付け蛍光灯型・工所用壁設置型)の紹介があった。自社で仕入販売・取扱を行っていくかどうか検討中。

5、交流ツアーの紹介

- ・平成23年10月に開催される、中西会長が全国で展開する研究会組織の合同研究会の開催の紹介があり、当研究会にも協力の依頼があった。

6、その他

- 1) 大日工業(株)の川瀬社長より、「しみず新事業創出研究会」の名称の「しみず」について、機構と同じように取るかどうか提案があった。会員企業数社から残したいとの意見があり、出席者の賛意を得て、そのままの名称でいくことになった。
- 2) 静岡県経済産業部商工業局新産業集積課の餅原班長より、静岡県の平成23年度6月補正予算の主要事業の中の、新エネルギー活用や省エネ関連ビジネス支援事業、BCP普及強化等の新規事業への取組について、説明があった。

5、事務局からの連絡

- 1) 次回(96回) 7月11日(月) 案内後日

以上